

また、ティーチング・アシスタントが特定の学生に集中することで、日ごろの研究活動に支障をきたさないかとの指摘もあるので、学生の割り当てに配慮する予定である。

3 教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続

(1) 大学院担当の専任教員の募集・任免・昇格に関する基準・手続の内容とその運用の適切性

現状の説明

大学院では人事権を有しておらず、大学院専任の教員は配置していない。したがって学部担当教員の中から資格審査を実施している。

点検・評価 長所と問題点 将来の改善・改革に向けた方策

平成11年4月の博士後期課程の設置時には、文部科学省の審査に基づき後期課程指導教授を任命しており、その後の学内審査では、博士前期課程指導教授の任命の範囲にとどまっていたが、本年度、一貫した博士課程指導教授及び大学院授業担当教員の資格審査基準を定め、次年度以降の任免、昇格に備えることとした。

《大学院における研究活動と研究体制の整備》

【大学院研究科】経営情報学研究科

A 研究活動

1 研究活動

(1) 論文等研究成果の発表状況

現状の説明

論文等研究成果の発表状況については、大学基礎データ「V 研究活動と研究体制の整備」「1 専任教員の教育・研究業績」（別冊）にも集約して掲載しているが、研究成果の多くは次の研究助成を得て行われる研究プログラムの遂行によって発表されている。

(2) 研究助成を得て行われる研究プログラムの展開状況

現状の説明

東京情報大学ハイテク・リサーチ・センター

平成8年、文部省（当時）は全国の私立大学の研究基盤を強化すべく、「私立大学等学術研究高度化推進事業（ハイテク・リサーチ・センター整備事業）構想」を